

## 健康塾で新型コロナウイルスについて学びました

9月26日（土）厚生連病院において、健康塾を開催しました。この健康塾は、健康教育を通して地域の皆様に貢献することを目的に、定期的で開催しているものです。今年度はコロナ禍により延期を余儀なくされていましたが、時期を待ち、感染対策をしたうえでようやく開催の運びとなりました。

そのようなことから今回のテーマは「今、知っておきたい新型コロナウイルスと感染対策」。ICP（感染管理医師）の資格を持つ鹿児島厚生連病院の宮原広典副院長が、「ウイルスの種類」や「感染源と感染経路」・「ワクチン」などについて、グラフや写真を用いて説明しました。

研修後の質疑応答では、“持病と新型コロナウイルスとの関連”や“インフルエンザウイルスとの関連”など、参加者から多くの質問があり、充実した内容の研修となりました。

研修後のアンケートでは「新型コロナウイルスに感染しないように気をつけなければとの意識が強くなった」や「必要以上には怖がらずに、でも油断せずに予防をしていきたいと思う」など、前向きにとらえる意見が多く聞かれました。

今後も、健康塾を様々なテーマで定期的で開催してまいります。

次回のご案内は厚生連ホームページなどで行います。（令和3年1月予定）



講演する宮原副院長



研修の様子